



二十六聖人

2024年 2月号

No.366 (2024年2月4日 発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

巻頭言：貧しいささげもの

ある主日、いつもと同じく、わたしはパンとぶどう酒を供えてミサを続けていました。ところが突然、わたしは何か不思議な気持ちに包まれました。その時、わたしの心には次のような思いが浮かんだのです。それは、「今日一日、全世界の各地で、わたしと同じ色のカズラ（祭服）を着て、同じ御言葉を聞き、また、同じ福音を伝える司祭たちがいるであろう。今、わたしは彼らと同じパンとぶどう酒を供えて、同じ式次第の言葉を唱え、同じ動作をしながら、彼らと同じミサをささげているのだ。」という思いでした。その思いのため、わたしはとても不思議な気持ちの中で、ミサをささげたわけです。

二月二日はクリスマスから40日目の日で、「主の奉献」と言われる祝日です。その日、全世界の教会は、生まれたばかりのイエス様が神殿で捧げられ、また、マリアが清められたことを記念します。聖書によると、マリアとヨセフは、イエス様の奉献とマリアの清めのため、一日、二つの儀式を行いました。二人はその二つの儀式を、別々の日に行

うことができないほど貧しかったでしょう。でも、その出来事にはとても大事な意味が隠されているわけです。それは、この奉献を通して、ゴルゴタの丘の上での荘厳な犠牲と、その犠牲によって生まれた教会が前もって示されたということなのです。

幼いイエス様は、旧約の律法に沿って捧げられましたが、その日、マリアも清められたでしょう。こうして、イエス様はご自分が捧げられることによって、マリアも清められるようにくださったのです。それと同様に、イエス様は十字架の奉献を通して、すべての人を罪から清め、死から救ってくださいました。その十字架の上で、イエス様はご自分の脇腹から血と水とが流されましたが、それはまさに、聖体と洗礼の秘跡のしるしでしょう。そして、その大事な秘跡を教会に委ね、全世界のすべての教会の中で、その命の血と清めの水が、絶え間なく湧き出るようにとされたのです。

ここで、貧しい夫婦であったマリアとヨセフについて考えてみたいと思います。それ

は、単なる経済的な貧しさではありません。その貧しさとは、神様だけを渴き求める心の貧しさ、魂の貧しさであり、世の中的な事よりもイエス様だけを愛し、イエス様だけに従う貧しさなのです。神様はご自分の独り子を失われ、最も貧しくなりましたが、それはわたしたちを清めの泉、命の泉であるキリスト・イエス様に導くためのことだったでしょう。そのイエス様に導かれるわたしたちが、様々な目に見える富と見えない富とに心を奪われたら、それは大変危ういことでしょう。

わたしたちは毎日、全世界の教会のミサ聖祭を通してイエス様をささげる、とても素晴らしい神秘に与っています。そのミサの中で、わたしたちはイエス様ご自分の奉獻に与っているのです。これは何と素敵な賜物でしょうか。すべての教会との一致の中で、同じイエス様の同じ奉獻に招かれ、それに与ることとは。これからも、心と魂をもっと貧しくして、イエス様と共にわたしたち一人一人をささげることはいかがでしょうか。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2024年1月教会委員会報告（開催日：1月7日）

【検討事項】

1. 年末福祉献金

11/26 ミニバザーからの約 132 千円、その後のクリスマス献金での約 525 千円に繰越金を加えた計約 756 千円のうち端数除く 750 千円を支援七団体とガザ人道支援募金へ寄付しました。内訳は支援七団体へ当初予定通り 620 千円、ガザへ 130 千円です。端数は次回に繰り越します。

2. 信徒意見

「信徒の意向を反映させるため年末福祉献金にガザ向けの献金袋を用意して欲しい。」今回の年末福祉献金はガザだけに向けたものではないのでガザ専用の袋は作りません。年末福祉献金の期間中に特にガザへの献金を望む方は、その意向に適った募金窓口（たとえばカリタス）を検討してください。大切なのは献金を通じて愛を実践することであり、それを教会でも余所でも重みに違いはありません。

3. 能登地震献金

1/14 は能登地震に特化した献金を行います。ウクライナ、トルコ、ガザ向けの献金は 1/21 から開始します。

4. 今後のバザーのあり方

前回バザーのような教会行事と、いわゆる献品古着市について、信徒の皆さんから意見を募集することにしました。具体的内容は投書箱、「今週のお知らせ」、『二十六聖人』を通じて広報する予定です。

5. 大掃除

コロナ禍で長らく中止していた大掃除を再開します。復活祭前の枝の主日（3/24）の 10 時ミサ後を予定しています。詳細は後日連絡します。

6. 名簿類管理規程

教会の名簿類を悪用した犯罪を防止するため、新たに「名簿類管理規程」を定めました。この規程は 2/7 に発効します。要点は次の通りです。

・教会事務所にある名簿類を閲覧・筆写するときは、事務所で所定の手続きをしなければなりません。

・名簿類の写しが欲しいときは、神父様の面談と許可が必要になります。写しは紙コピーに限ります。スマホやデジカメで撮影することはできません。

・写しには「要返却」の印と返却期限、写しを受け取った人の名前を記入することになりました。写しは借用品ですから返却期限までに事務所に返却しなければなりません。

・信徒会などが独自に作成した会員連絡用の名簿は原則として規程の管理対象外です。今までどおり各会で管理してください。

【報告事項】

1. 一般

・神父様は1/22～26に休暇に入られます。この間、ミサはありません。

・神父様から次のことについて諮問がありました。

①一階の障がい者用トイレの蛇腹式ドアを遮音性のあるスライド式に変えたいです。使用者にとって音漏れは人権問題だと思います。

②一階男子トイレの手洗いを、手を洗っているあいだ常に水が出続けるようなセンサー式に更新したいです。

③できれば毎月、教会の財務状況を信徒に公開したいです。

・当教会信徒名簿（10年以上前に発行）を使ったと思われる詐欺未遂事件の報告が事務所からありました。皆さん警戒してください。

2. 典礼委員会

・枝の回収を1/17～2/7に行います。
・2/2 主の奉献(祝)10時のミサの中でろうそくの祝別を行います。当日来られない方はろうそくに名札を付けて事務所へ預けてください。

・2/14 灰の水曜日のミサは10時のみです。この日に来られない方で灰を受けることを望まれる方は2/18までに司祭に申し出てください。

・2/16 から毎週金曜日9:20より十字架の道行を行います。

3. 二十六聖人委員会

昨年同様、2/5 日本二十六聖人殉教者の祝日に向けて企画をします。

4. 教会学校

・12/24 10時ミサ中に聖劇を行いました。多くの子供が出席し、青年会のクリスマス会も楽しみました。

・1/21 こどもミサ中に初聖体の子供7名を紹介します。

5. キリスト教講座

・2/18 14時から藤沢教会で横浜教区合同入信志願式あり。当教会の対象者は6名です。

6. 財務委員会

信徒集会（2/25）に向けて決算作業中です。

7. 広報委員会

戸塚教会便りによると、戸塚には行事親睦部（行事を企画する部会）があるそうです。

8. 共同墓地委員会

・3名の生前予約者がありました。

・1/14に磯子教会で四教会共同墓地担当者会議を行います。

9. ヨゼフ会

12/3 馬小屋飾り付け、12/10 コーヒー光、12/24 クリスマス後コーヒー提供、12/30 忘年会を行いました。1/14、1/28 コーヒー光、1/21 例会を予定しています。

10. マリア会

・1/28 10時ミサ後にマリア会総会を行います。

・ボリビア支援グループ 12/17 のんびり日曜日でジャムを販売しました。1/21 のんびり日曜日でジャム販売を行います。

・パーティー係 12/15 新成人を祝う会&新年会のパーティー打ち合わせをしました。1/13 パーティー前日準備、1/14 パーティー当日準備の予定です。

11. 青年会

・12/17 定例会でクリスマス会の内容や担当を決め、買出しと看板作りを行いました。1/14 青年ミサの出欠確認を行う予定です。

・12/24 クリスマス会に外国につながる子供を含め幼児、小中高生や保護者が多数参加して、お菓子の時間、歌、ゲームを通じて交流できました。

・1/14 青年ミサで三人の新成人をお祝いし、新年会の後に青年が集まる機会を作る予定です。

12. インターファミリー

・当教会にはベトナム国籍の信徒が多数います。積極的に交流を深めてください。
・12月はミーティングなし、1/21の10時ミサ後ミーティングの予定です。

13. 一粒会

・2/4 第三地区一粒会の集い開催を予定しています。
・1/28までロビーで一粒会月定献金会員募集の案内を行います。

以上



皆で祈りましょう！

2月の祈りといえば、2月5日の日本二十六聖人殉教者の祝日に祈られる「日本二十六聖人殉教者への祈り」ですが、以前この祈りについては掲載いたしましたので、今回は、2月11日の「世界病者の日」に向けての祈りをご紹介します。

病人のための祈り

かみ おん ご ひと よわ まず じぶん かた せ お
神よ、御ひとりごはすべての人の弱さと貧しさをご自分の肩に背負われ、
しんぴ み くる かち しめ
神秘に満ちた苦しみの価値を、わたしたちに示してくださいました。

やまい くる きょうだいしまい しゆくふく
病に苦しむ兄弟姉妹を祝福してください。

ふあん くる なか
不安と苦しみの中であって、

こどく う
孤独に打ちひしがれることがありませんように。

こころ からだ いや しゅ むす
心と体を癒してくださる主イエス・キリストに結ばれて、

くる ひと やくそく なぐさ はげ
苦しむ人びとに約束されているあなたの慰めと励ましを

え
得ることができますように。

しゅ
わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(「祈りの手帳」ドン・ボスコ社 より)

新成人になられた皆さん、おめでとうございます！

1月14日（日）10時ミサの中で新成人のお祝いがあり、神父様から祝福をいただきました。また、ミサ後に2階にて新成人のお祝いと教会新年会が行われました。新成人になった感想を『二十六聖人』に寄せていただきました。



< 新成人になって >

幼少の頃の私は、常に大人を羨望の眼差しで見えていました。私にとって大人は何でも自由にできる存在のように思えたからです。しかし、いざ成人になると「自由と責任は不可分なのだ」ということを実感します。例えば、未成年者の場合は法定代理人の同意が必要であった契約締結も、成年に達すれば自分の意思のみで可能となりますが、自由に締結できるということはその契約に対して責任を負うのは自分ということになります。法律行為に限らず、常に自分の行動には責任が伴うようになります。

成年を迎え、今まで支えてくださった皆様に感謝の思いを抱きつつ、一人の大人として自分の行動に責任を持ち続けることの出来る人間になりたいです。

ジャシント・マルト K. N.

今年度に新成人を迎えました。私は教会の音楽に興味があったことをキッカケに、去年から二俣川教会にお世話になり、洗礼を受けました。受洗してからそれほど月日が経っていないのにも関わらず、新成人を教会の皆さまがお祝いしてくださり、改めて周りの方々に支えられていることを実感しました。

話題は変わりますが、私はショットバーでアルバイトをしていて、20歳になってお酒が飲めるようになったことが身近な事で1番の大きな変化でした。お酒の勉強も並行して進めていくようになり、教会とお酒も関わりが深いことを知りました。元々教会音楽に関心があって門を叩いたのですが、別の分野でも新たな発見ができそうです。

最後に、これからも教会の皆さま、主と共に歩んでいきたいと思っています。ミサは朝早く、去年はあまり与ることができなかつたことが悔いなので、今年は早起きを徹底したいという20歳らしからぬ目標を設定して精進して参ります。

ジューリア I. R.

2024年 新成人の皆さん



ペトロ I. R. (鶴ヶ峰東 5)

ジューリア I. R. (二俣川南5)

セシリア・マリア O. A. (二俣川南 6)

ジャシント・マルト K. N. (瀬谷北 2)

ラファエル K. S. (鶴ヶ峰東3)

ラファエル K. T. (二俣川北6)

ヨセフ F. J. (鶴ヶ峰西 4)

ベルナデッタ M. M. (鶴ヶ峰東 1)

マリア W. R. (希望が丘 2)

二俣川教会 ニュース

- 1月21日(日)10時ミサの中で、6月2日に初聖体を受ける子どもたちの紹介が行われました。子どもたちがたくさんのお恵みをいただけるように皆でお祈りいたしましょう。



- 1月25日(木)は姜神父様の56歳のお誕生日。一番近い主日である21日(日)の10時ミサの中で、みんなで聖歌のプレゼントをしました。そして子どもたち一人ひとりがお花を持って祭壇に進み、姜神父様にそのお花を差し上げるという可愛らしいお祝いのひと時がありました。一本ずつのお花は大きな花束となり、受け取られた神父様の喜びに満ちた素敵な笑顔が印象的でした。



- 今年も枝の回収が始まりました。回収期間は1月17日(水)から2月7日(水)です。神父様の提案で、今年は聖堂前方のマリア像前に箱を用意してあります。昨年祝福された枝なので、ロビーの床に置くのではなく、聖堂の中の少し高い位置にある箱の中へ回収したらよいのではというお話しがありました。この枝を燃やして灰を作りますが、その灰をいただく灰の水曜日は2月14日の10時ミサです。

- 1月21日(日)10時ミサ後に、昨年10月に韓国を訪問した青年たちの映像を交えた「青年韓国訪問報告会」が行われました。下のQRコードをスマホなどで読み込むと、報告会を



撮影した映像を見ることができます。



- 2月5日は、私たち二俣川教会の守護の聖人「日本二十六聖人殉教者」の祝日です。今年は1番近い主日ミサ(3日17時)から祭壇の前に26本のロウソクを飾り、4日の10時ミサではロウソク行列を行います。5日(月)も10時からごミサがあります。共にごミサを捧げ、取り次ぎを願いましょう！



信徒集会

●2月25日(日)10時ミサ後、『信徒集会』が行われます。2023年はいわゆる「With コロナ」の時代の始まりであり、教会の活動も少しずつ再開できました。今度の信徒集会では、

その2023年の各会の活動報告や財務報告が行われ、2024年度の活動方針も披露されます。信徒集会は全信徒が参加対象です。是非、積極的にご参加ください！



マリア会通信 No. 135

新年おめでとうございます。マリア会の年始最初の仕事は、主にパーティー係が、教会主催の新成人を祝う会&新年会パーティーの買い物などの準備をし、当日は調理やセッティングをしてサポートすることでした。1月14日(日)の10時ミサ後に、二階へどうぞというアナウンスもあり、お陰様で年長者から小さい子どもたちまで数多くの方々が参加され、楽しいお祝いのひと時を過ごすことができました。

ボリビア支援グループは11日に今年初の会議を行い、6月30日に予定されている久しぶりのボリビアデーに向けて始動いたしました。アンナ会もステラマリス帽子を編む会も、元気に活動を始めています。きっと今年は昨年にも増して忙しい一年になることでしょう。

1月28日にはマリア会総会を開催いたしました。寒い日でしたが33名の参加者があり、総会の中で、新しくK. R.さんが運営委員になってくださいました。参加の皆様がたくさん拍手をいただき、現運営委員の3人も神様のプレゼントねと心から喜び、感謝の気持ちでいっぱいになりました。総会后、カレーの代金として集めさせていただいたお金から材料費を引いた金額を、少額ではありましたが、『能登地震募金』とさせていただきます。

本年もマリア会へのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

マリア会 F. N.

【編集後記】

10月に韓国を訪問した若者たちでまとめた、皆さんに伝えたいことのひとつ。『韓国の信者さんたちは、呼吸をするように神様に感謝して生きています。そこからすべての行動が生まれているから、私たちは彼らから謙虚さと温かさを感じ、神様の愛までも感じることができました。私たちも是非、そのように生きていきたいと強く感じました』。国内旅行と変わらない、飛行機に乗って2時間で行ける国、韓国。勿論、信仰教育や生活の環境に違いはあると思います。でも普遍的=カトリックの信仰人として、生き方を見つめなおす大変貴重な機会をいただきました。老若男女、教会の皆さんと一緒に考えたいと思いました。神様に感謝！

(Y. O. 記)